

しまんと海藻エコイノベーション共創拠点の概要

PL 平岡雅規(高知大学)

国(JST 科学技術振興機構)の研究開発の支援事業

共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)の概要

プログラムの概要

- **ウイズ・ポストコロナ時代を見据えつつ、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に基づく未来のありたい社会像（拠点ビジョン）**を策定。その達成に向けたバックキャスト※によるイノベーションに資する研究開発と、**自立的・持続的な拠点形成が可能な産学官連携マネジメントシステムの構築**を同時並行で推進する。
- これを通じて、**大学等の強みや特色を活かしながら産学官の共創による拠点の形成を推進し、国の成長と地方創生に貢献するとともに、大学等が主導する知識集約型社会への変革を促進する。**

※バックキャスト：あるべき社会の姿や社会ニーズから、主として科学技術が取り組むべき課題を設定、実施計画を策定して推進する手法

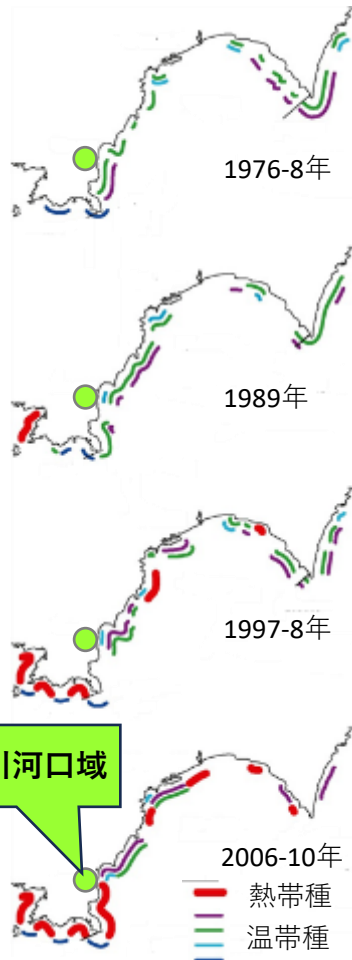
大学の強み・特色 → 海藻の生産技術や利用技術、環境調査・分析の技術

産学官の共創による拠点形成 → 四万十市＝県内最大の海藻の産地

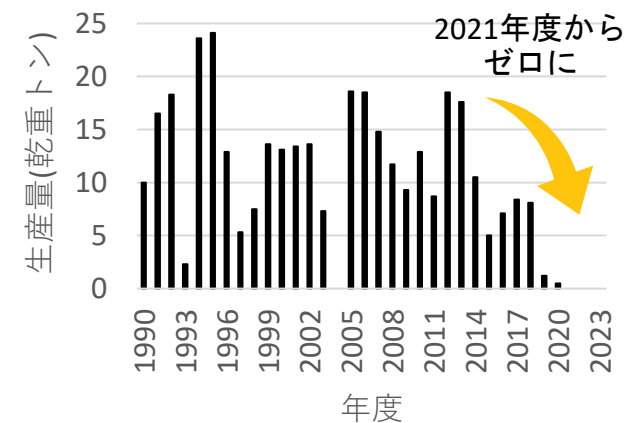
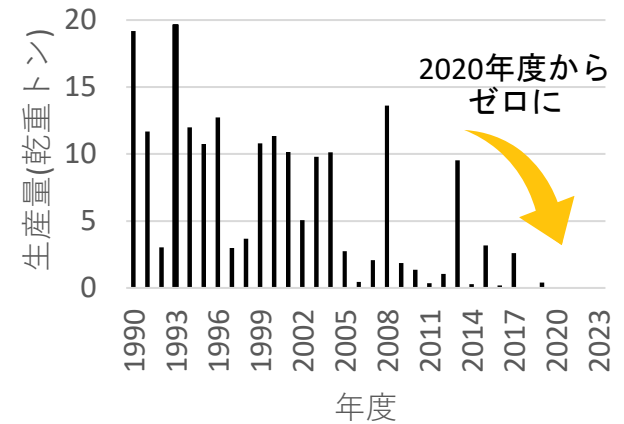
未来のありたい社会像 → 海藻生産が支える資源循環する社会

産学官の共創による拠点形成 → 四万十市＝県内最大の海藻の産地

海洋温暖化で進行する藻場変動



県内最大の海藻生産地＝四万十川河口で海藻生産消滅の危機



未来のありたい社会像(拠点ビジョン) → 海藻生産が支える資源循環する社会

10年後には食用海藻の復活を超えて他産業分野への利用まで発展させる



指標項目	数値	目標達成項目
本格型 10年 KGI	30億円/年	高知県上野地区へスーパースタートアップパークの創設 食料分野 食料分野 加工工場 ヒトエグサの活用
本格型 5年 KPI	5億円/年	高知県庁舎での陸上養殖 原料の活用 海外への輸出 食料分野 ヒトエグサの活用
育成型 2年 KPI	4500円/年	高知県庁舎での陸上養殖 原料の活用 食料分野
現在	0円/年	海藻生産量0

運営体制(2024～2025年度)

